縄文土器のAMS^{14}C年代(3)

山本　直人
名古屋大学文学部考古学研究室
〒464-8601

昨年度の1997年11月と1998年3月に石川県鳳至郡能都町真脇遺跡と石川県石川郡野々市町御経塚遺跡から出土した縄文土器を13点測定していたが，未報告であったのでその結果を報告するものである．

すでに1996年度の業績報告書でのべたことであるが（山本1997），本研究の目的は，縄文時代における土器型式のAMS^{14}C年代をあきらかにすることである．その方法は，土器型式が明確な縄文土器に付着した炭化物を試料に，タンデトロン加速器質量分析計で^{14}C年代測定をおこなうものである．試料採取・試料調整・^{14}C年代測定についても従来の方法を踏襲しており（山本1997・1998），採集した試料は表1にしめすとおりである．

測定の結果は表2にしめすとおりで，測定値の樹輪校正はおこなっていない．ここ2年間にわたって北陸地方の土器型式の明確な縄文土器に付着した炭化物を試料にAMS^{14}C年代測定をおこなってきており（山本1997・1998），それらのなかで信頼度の高い測定値をえらびだして作製したものが表3である．なお，これらの測定値も樹輪校正はおこなっていない．

謝辞

試料調整やタンデトロン加速器質量分析計による^{14}C年代測定に際しましては，中村俊夫先生をはじめとして太田友子氏，池田晃子氏，小田寛貴氏，名古屋大学年代測定資料研究センター第一実験室の方々には，たいへんお世話になりました．記して深く感謝する次第です．

また，能都町教育委員会の高田秀樹氏と加藤三千雄氏，野々市町教育委員会の吉田淳氏には貴重な試料を提供していただき，明記して謝意を表する次第です．

引用文献

山本直人，1997，「縄文土器のAMS^{14}C年代（1）」『名古屋大学加速器質量分析計業績報告書』Ⅷ，222-230頁，名古屋大学年代測定資料研究センター・名古屋．

山本直人，1998，「縄文土器のAMS^{14}C年代(2)」『名古屋大学加速器質量分析計業績報告書』Ⅸ，161-170頁，名古屋大学年代測定資料研究センター・名古屋．

表１　採取試料一覧表（重量の単位はmg．種類の混合は炭成分とフミン酸の混合をあらわす）

試料番号	遺跡名	時期	土器型式	器種	付着部位	試料重量	種類	重量	収率	挿図番号
17MWK01	真脇	前期	蜆ヶ森古	深鉢	外面・胴部	348.21	炭成分	24.92	7.2	
17MWK03	真脇	前期	蜆ヶ森新	深鉢	外面・口縁部	586.87	炭成分	51.88	8.8	
17MWK05	真脇	前期	福浦上層	深鉢	外面・口縁部	334.46	炭成分	61.13	18.3	
17MWK09	真脇	前期	真脇	深鉢	内面・口縁部	597.28	炭成分	12.42	2.1	
17MWK17	真脇	前期	朝日下層	深鉢	外面・胴部上半	613.00	炭成分	24.55	4.0	
17MWK21	真脇	中期	新保	深鉢	外面・胴部	513.00	炭成分	17.61	3.4	
17MWK24	真脇	中期	新保新	深鉢	外面・口縁部	369.17	炭成分	23.62	6.4	
17MWK28	真脇	中期	新崎	深鉢	外面・口縁部	397.24	炭成分	11.90	3.0	
17OKD23	御経塚	後期	加曾利B1	深鉢	外面・口縁部	143.97	炭成分	6.83	4.7	
17OKD24	御経塚	後期	加曾利B1	深鉢	内面・口縁部	66.12	消失	計測不能		
17OKD25	御経塚	後期	加曾利B1	深鉢	外面・口縁部	196.24	炭成分	16.31	8.3	
17OKD14	御経塚	後期	井口Ⅰ	深鉢	内面・胴部下半	537.84	炭成分	102.66	19.1	
17OKD04	御経塚	晩期	中屋Ⅱ	深鉢	内面・胴部上半	101.85	混合	33.52	32.9	

表２　測定結果一覧表

試料番号	遺跡	時期	土器型式	種類	重量	δ^{13}C(‰)	^{14}CyrBP	測定コード番号
17MWK01	真脇	前期	蜆ヶ森(古)	炭成分	24.92	未測定	4780±110	NUTA-5878
17MWK03	真脇	前期	蜆ヶ森(新)	炭成分	1.88	未測定	5010±130	NUTA-5879
17MWK05	真脇	前期	福浦上層	炭成分	61.13	未測定	4340±120	NUTA-5880
17MWK09	真脇	前期	真脇	炭成分	12.42	未測定	4750±110	NUTA-5881
17MWK17	真脇	前期	朝日下層	炭成分	24.55	未測定	4460±120	NUTA-5882
17MWK21	真脇	中期	新保	炭成分	17.61	未測定	4600±120	NUTA-5883
17MWK24	真脇	中期	新保(新)	炭成分	23.62	未測定	4350±180	NUTA-5867
17MWK28	真脇	中期	新崎	炭成分	11.90	未測定	4170±140	NUTA-5868
17OKD23	御経塚	後期	加曾利Ｂ１	炭成分	6.83	未測定	3070±110	NUTA-5863
17OKD24	御経塚	後期	加曾利Ｂ１	消失		測定不能		
17OKD25	御経塚	後期	加曾利Ｂ１	炭成分	16.31	未測定	3790±110	NUTA-5864
17OKD14	御経塚	後期	井口Ⅰ	炭成分	102.66	未測定	2940±100	NUTA-5865
17OKD04	御経塚	後期	中屋	混合	33.52	未測定	1830±110	NUTA-5533
17OKD04	御経塚	後期	中屋	混合	33.52	未測定	1760±110	NUTA-5866

表3　北陸の縄文時代前期後半～晩期土器型式のAMS^{14}C年代一覧表

試料番号	遺跡名	時期	土器型式	種類	δ^{13}C(‰)	^{14}CyrBP	測定コード番号
17MWK03	真脇	前期	蜆ヶ森	炭成分	未測定	5010±130	NUTA-5879
17MWK09	真脇	前期	真脇	炭成分	未測定	4750±110	NUTA-5881
17MWK21	真脇	中期	新保	炭成分	未測定	4600±120	NUTA-5883
17KTD01	北塚	中期	古串田新	炭成分	−22.47	4490±130	NUTA-4940
17KTD06	北塚	中期	串田新Ⅰ	フミン酸	未測定	4390±110	NUTA-4943
17KTD04	北塚	中期	大杉谷	炭成分	−23.62	4040±90	NUTA-4942
17KY01	気屋	後期	気屋	炭成分	未測定	3530±130	NUTA-5649
17KY05	気屋	後期	気屋	フミン酸	未測定	3460±110	NUTA-5483
17OKD10	御経塚	後期	井口Ⅱ	炭成分	未測定	3230±100	NUTA-5647
17OKD16	御経塚	後期	八日市新保	混合	未測定	3030±90	NUTA-5526
17OKD07	御経塚	晩期	御経塚	混合	未測定	2950±120	NUTA-5530
17OKD01	御経塚	晩期	中屋	混合	未測定	2670±110	NUTA-5531
17OKD02	御経塚	晩期	中屋	混合	未測定	2740±120	NUTA-5532
17OKD02	御経塚	晩期	中屋	炭成分	未測定	2690±100	NUTA-5645
17SMN01	下野	晩期	下野	混合	未測定	2600±100	NUTA-5528
17OKD06	御経塚	晩期	下野	混合	未測定	2710±100	NUTA-5529
17OKD06	御経塚	晩期	下野	炭成分	未測定	2700±80	NUTA-5646

口頭発表

1) 山本直人，「AMS^{14}C年代測定法，考古資料への適用」『いま，歴史資料を考える』名古屋大学文学部創設50周年記念公開シンポジウム，名古屋大学文学部，1998年9月.

2) 山本直人，「AMS^{14}C年代測定法による低湿地型貯蔵穴の年代決定」『動物考古学研究会第3回研究集会』，佐倉市中央公民館・国立歴史民俗博物館，1998年11月.

発掘調査報告書発表

1) 山本直人，「焼土および縄文土器のAMS^{14}C年代」『金沢市北塚遺跡』金沢市文化財紀要139，101～105頁，金沢市教育委員会，　1998年3月.

2) 山本直人，「土坑出土炭化堅果類のAMS^{14}C年代」『上町和住下遺跡』，73-75頁，石川県立埋蔵文化財センター，1998年3月.